

『2012 アセンション日記』

No4-5 知英

私が「アセンション」という言葉を聞いたのは、
2011年の秋頃でした。

そして、2012年に「アセンション・カフェ」に参加し、
仲間と一緒にいることが楽しいからという感覚でいました。

そんな中で思い出したことがありました。

小学生の頃から、

「みんなと仲良くしたい」

「みんな笑顔でいられたらいいなあ」と思っていたこと、

いつの頃からか、

「自分以外の誰かのために何かをしたい」

そんな気持ちを持ち始めたこと。

また、2012年になり私の中で強くなる想いがありました。

「戻りたい。本来（本当）の自分に戻りたい。」

そう感じる気持ちが、日に日に強くなっていきました。

でも、何をどうすれば良いのかわかりませんでした。

そして、2012年7月からNMCAAで学ぶことになりました。

そこで、「本当の自分に戻りたい」という想いは、

「根源へ還る」

還りたいという想いだったのだと気付きました。

それは私の中に眠っていた、

忘れていたことを思い出し始めた瞬間だったのだと

思います。

学びをすすめていくなかで、

アセンションを成功させるために

ここ日本に生まれてきたのだという感覚も感じました。

すべてのものが調和した境界のない世界。

愛と光、笑顔で満ちあふれた世界。

地球を愛の星にするため。

愛によってみんなが繋がりひとつとなる。

愛と信頼による絆の世界。

「愛」「繋がり」「絆」

私はとても大切だと思いました。

そのためにはどうすればよいのか？

自らが決めて、自ら動く。

AI先生の著書「愛の使者」にもありますが、

日本には以心伝心という言葉があります。

言葉ではない部分が伝わる、伝えられる。

それは、想いをくむ、感じるということでもあると思います。

思い浮かべていたお友達から、久しぶりに連絡があった、

なども、そんな感じなのかなあとと思います。

エネルギーを感じたとも言えるのではないかと思います。

2012年10月

私は、遠く離れたファシリテーターの先生の発現された

エネルギーを感じる事が出来ました。

先生に意識を向けていたところ、ある感覚がありました。

その時の感覚は、今でも覚えています。

これは、私にとって「意識」というものを
意識するきっかけになり、

同時に「意識を拡大していく」という事について、
より一層強く思うようになりました。

そして、この12月が迫っているこの時に、
「意識の拡大」と感じる体験をしました。

「みんなとともに」と強く願う私にとって、
家族、パートナー、ともに学ぶ仲間、
すべてが愛しい存在であり、
すべてを包み込み、
いつ、いかなる状況にあっても、
愛と光をあまねく発現拡大したい、する、
と決めています。

では、実際にどう動いていけば良いのでしょうか？

実際に動く内容・タイミングと、
「みんな一緒に」「すべてとともに」ということを、
自身の中でしっかりと繋がり意識できた時に
「意識の拡大」という感覚を感じました。

その感覚を言葉にすると、
目の前で光がはじけて四方八方に拡がり、
眩い光の中で身体が軽くなった感じでした。
心（ハート）が温かくなり、
どこまでも優しく柔らかく
自身も周りもすべてを包み込んでいる感覚です。
私が本当に伝えたいこと、したいことをする時
あらゆるすべてを包み込む。
あらゆるすべてを愛と光で照らす。
自身が愛の太陽となって。
次へ続く人の道しるべとなるように。
2012年から2013年へと繋げていきます。
愛と感謝を込めて

2012.11.29